

名古屋税関管内における

『石油ストーブ』の輸出

全国輸出額のなんと 8 割超が

名古屋税関管内から！

寒さが身に堪えるこの季節、
暖房器具は欠かせない必需品で
すね。

最近、暖房器具といえば、
エアコンという家庭が多くなり
ましたが、まだまだ石油ストーブは大活躍しています。

そんな石油ストーブが名古屋税関管内から多く輸出されていることを、皆さんご存知
でしたでしょうか。

名古屋税関管内から輸出される「石油ストーブ」^{※1}の輸出額（2017 年 1 月から 10
月実績）の全国シェアは 8 割を超えており、全国税関別順位で第 1 位となっています。

そこで今回は、「石油ストーブ」の輸出についてご紹介します。



※1 「石油ストーブ」とは、石油ストーブ、石油ファンヒーター、対流形ストーブ、備え付けタイプのストーブなどが分類される、輸出統計品目番号「7321.82-110」のものをいいます。

管内の輸出実績

2017年1月から10月の名古屋税関管内における「石油ストーブ」の輸出実績は、

- ・ 数量 21万4,563台 (前年同期比 100.9%)
- ・ 金額 27億4,113万円 (同 109.8%)

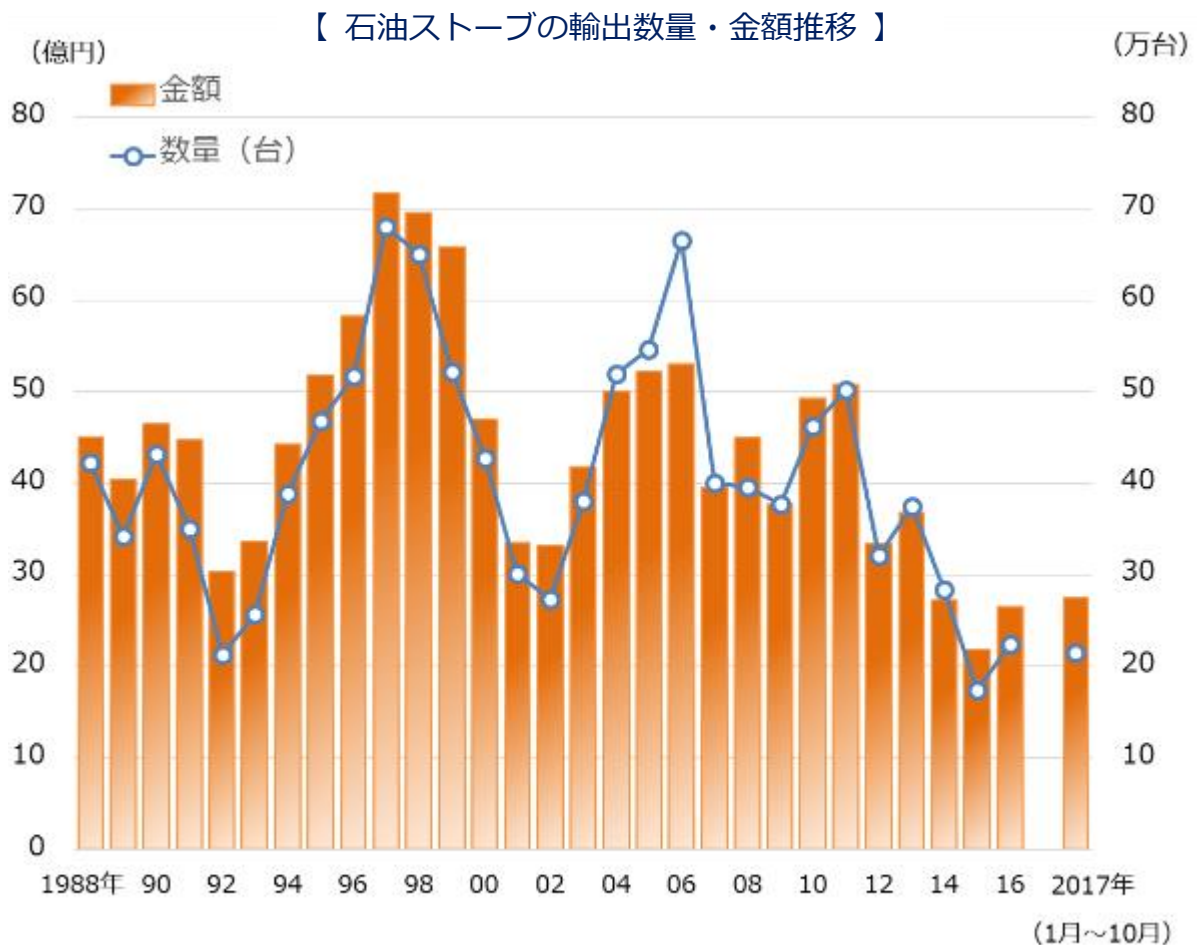
となり、数量・金額ともに前年同期比で増加となりました。

また、全国税関別シェアでは、

- ・ 数量シェア 49.2%
- ・ 金額シェア 83.4%

となり、数量・金額とも全国税関別順位で第1位となっています。

管内の輸出推移をみると、数量・金額とも1997年に記録した数量68万0,039台、金額71億6,334万9千円が過去最高値となっています。



税関別シェア

管内の全国税関別シェアの推移をみると、数量ベースでは 2004 年の 79.2%を最高に、金額ベースでは 2011 年の 90.6%を最高にやや減少していますが、税関別の順位としては数量、金額ベースともに比較対照が可能な 1988 年以降、

「30 年間連続第 1 位」となっています。

2017 年（1 月から 10 月）の税関別順位は、

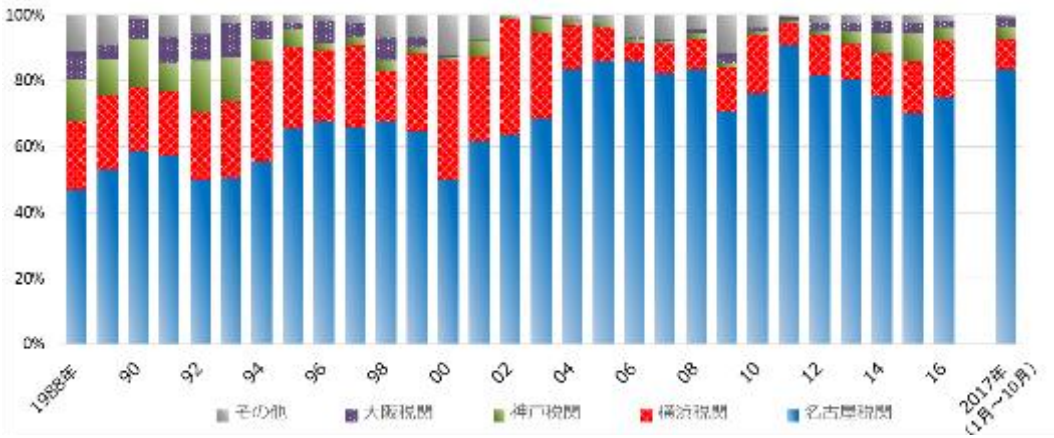
1 位	名古屋税関	数量ベース	49.2%	金額ベース	83.4%
2 位	横浜税関	同	23.5%	同	9.4%

となっています。

【 税関別構成比（数量）】



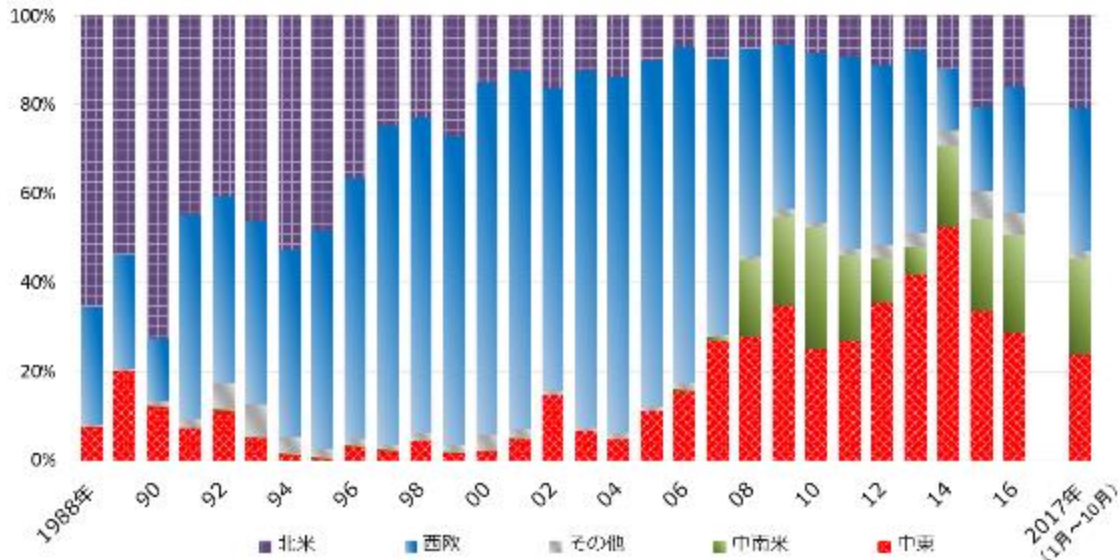
【 税関別構成比（金額）】



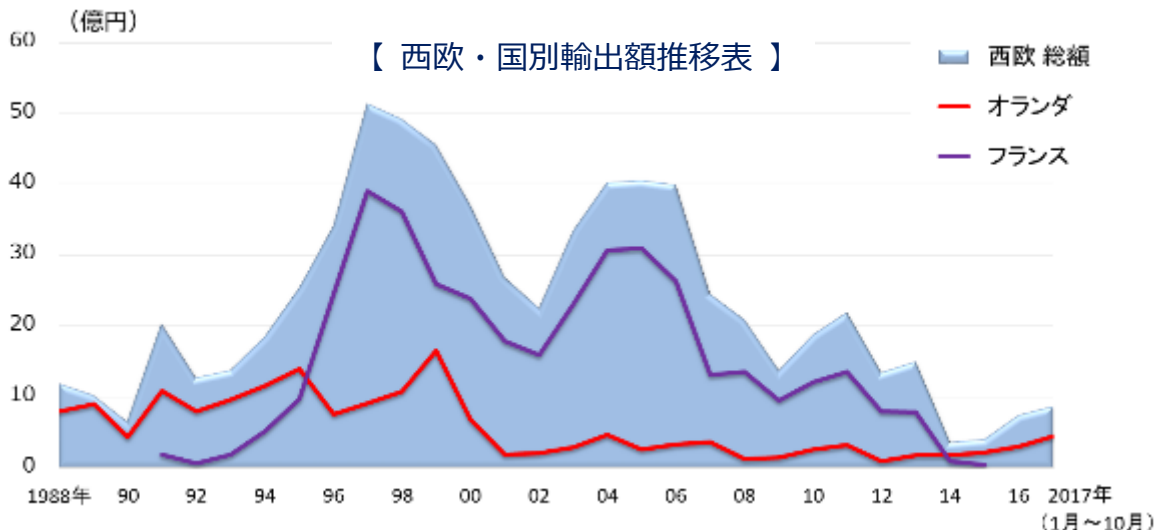
管内の地域・国別輸出実績

名古屋税関における2017年1月から10月の地域別の金額シェアでは、西欧が32.0%、中東23.5%、中南米22.0%、北米20.8%となっています。

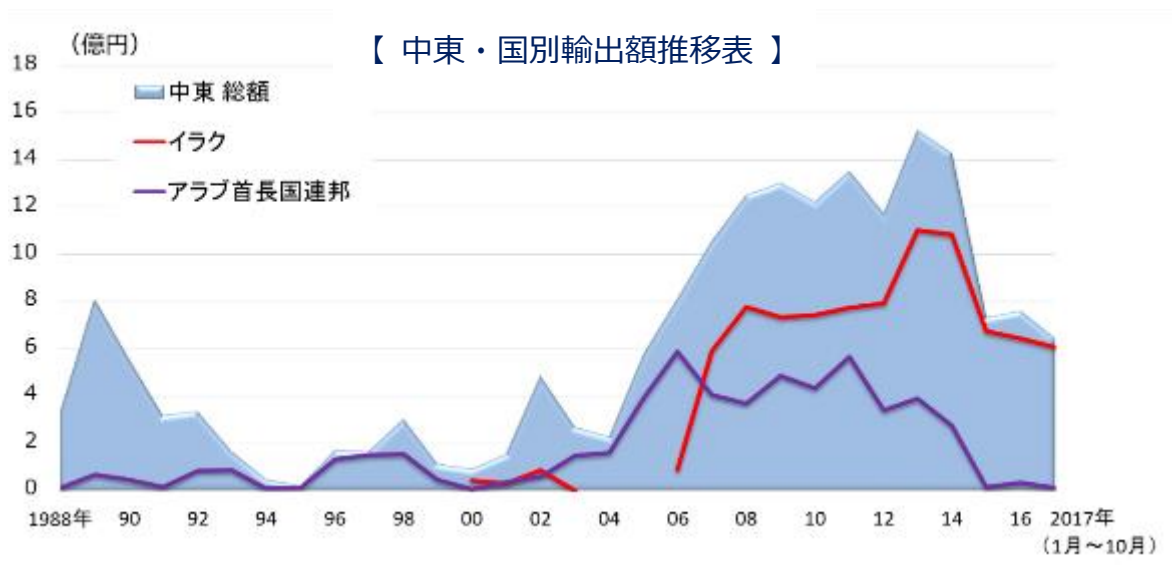
【 地域別金額構成比 】



西欧への輸出については、1996年から2007年まで地域別シェアで5割を超えており、その半数以上はフランスに輸出されていました。その後、フランスへの輸出が減少するとともに西欧の地域別シェアは減少し、2014年の西欧への輸出額は4億円まで減少しました。しかし、新たにオランダに西欧諸国等への物流拠点ができたことなどから、欧州向けは2015年から増加に転じ、今後も堅調に推移するものと思われれます。



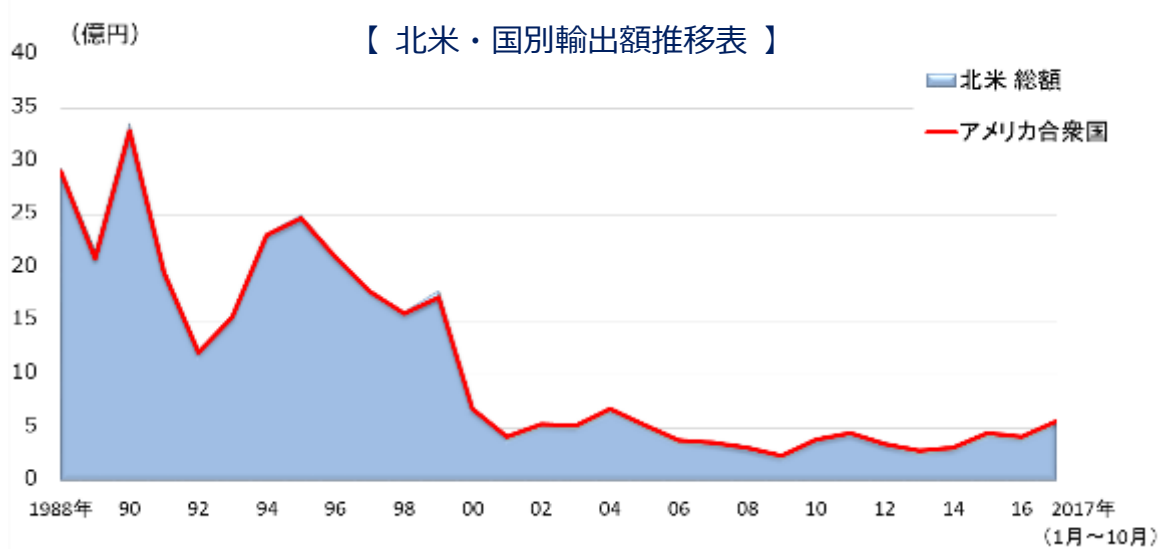
中東への輸出については、2005年からアラブ首長国連邦、2007年からはイラク向けの輸出が増加しましたが、治安の悪化の影響などにより2015年から低調となりました。現在も社会情勢の不安が残っており、販売環境は思わしくありませんが、中東における石油ストーブの需要は継続しており、社会情勢の安定とともに増加するものと思われます。なお、中東地域は、砂漠気候で年中高温というイメージがありますが、冬季は一変して冷涼な気候になるそうです。



中南米への輸出については、その大部分の輸出先はチリとなっており2008年から急増しました。その背景には、日本・チリ経済連携協定の発効によりチリでの石油ストーブの関税が軽減されたことに加え、日本製品の品質の良さが認められたためです。現在、需要が一巡したこともあり一時期の伸びはありませんが、日本ブランドは現地で定着しており、今後も堅調に推移するものと思われます。



北米への輸出については、そのほぼすべてがアメリカに輸出されており、1990年のアメリカへの輸出額は33億円の実績がありました。しかし、2000年には、輸出する機種が減少した影響などから、7億円まで減少しました。その後、輸出額は横ばいで推移しています。なお、北米向けには、備え付けタイプの単価の高い※2商品が多く輸出されています。



今後の展望

メーカーによると、先進国などではセントラルヒーティング※3やエアコンなど暖房器具の多様化から、石油ストーブの販売状況は厳しい側面があるとのこと。



しかし、手軽に持ち運べるタイプの石油ストーブは、ガレージなどで活用でき、また、補助暖房として欠かすことのできないものになっています。

日本では手軽に手に入る灯油ですが、世界的に見ると市民が気軽に買えるものではない国が多数あるため、まずは灯油を普及させる必要があり、石油ストーブの普及までには時間がかかる可能性もありますが、地道な活動を通じて販売先を拡大し、今後も安定・継続的な輸出実現に繋げていきたいとしています。

※2 2017年1月から10月の単価 対世界(北米を含む。)12,775円/NO、アメリカ69,640円/NO

※3 セントラルヒーティングとは、中央暖房ともいい、建物の一か所にボイラーなどの熱源を設置して、その熱を暖房が必要な部屋などに送り届ける暖房方式です。

資料編

【 税関別推移表（数量）】

（単位：台、％）

年月	全国		名古屋税関		横浜税関		神戸税関		大阪税関		その他	
	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比
1988年	886,782	47.7%	422,908	47.7%	204,158	23.0%	142,653	16.1%	81,685	9.2%	35,378	4.0%
1989年	643,395	53.2%	342,182	53.2%	166,740	25.9%	89,616	13.9%	30,168	4.7%	14,689	2.3%
1990年	790,448	54.7%	432,062	54.7%	156,245	19.8%	139,302	17.6%	55,769	7.1%	7,070	0.9%
1991年	675,092	51.9%	350,137	51.9%	153,467	22.7%	78,248	11.6%	62,973	9.3%	30,267	4.5%
1992年	506,663	42.0%	212,943	42.0%	115,223	22.7%	115,860	22.9%	39,527	7.8%	23,110	4.6%
1993年	564,242	45.5%	256,536	45.5%	136,345	24.2%	101,395	18.0%	59,077	10.5%	10,889	1.9%
1994年	702,731	55.4%	389,361	55.4%	202,326	28.8%	61,142	8.7%	36,020	5.1%	13,882	2.0%
1995年	714,301	65.5%	467,765	65.5%	165,531	23.2%	44,359	6.2%	14,324	2.0%	22,322	3.1%
1996年	783,275	66.0%	516,993	66.0%	179,877	23.0%	21,797	2.8%	51,173	6.5%	13,435	1.7%
1997年	1,042,356	65.2%	680,039	65.2%	260,500	25.0%	33,017	3.2%	39,283	3.8%	29,517	2.8%
1998年	930,102	69.9%	649,781	69.9%	147,476	15.9%	42,868	4.6%	78,335	8.4%	11,642	1.3%
1999年	889,153	58.7%	521,592	58.7%	275,310	31.0%	25,293	2.8%	29,556	3.3%	37,402	4.2%
2000年	806,443	53.0%	427,279	53.0%	340,778	42.3%	12,005	1.5%	6,640	0.8%	19,741	2.4%
2001年	508,312	59.4%	301,808	59.4%	159,503	31.4%	37,298	7.3%	3,196	0.6%	6,507	1.3%
2002年	501,000	54.7%	273,802	54.7%	209,307	41.8%	9,994	2.0%	4,001	0.8%	3,896	0.8%
2003年	580,639	65.6%	381,000	65.6%	157,929	27.2%	29,579	5.1%	6,108	1.1%	6,023	1.0%
2004年	656,448	79.2%	520,164	79.2%	99,299	15.1%	23,811	3.6%	6,664	1.0%	6,510	1.0%
2005年	725,692	75.4%	546,878	75.4%	119,370	16.4%	30,299	4.2%	7,509	1.0%	21,636	3.0%
2006年	885,852	75.1%	665,078	75.1%	100,682	11.4%	54,940	6.2%	15,975	1.8%	49,177	5.6%
2007年	568,454	70.5%	400,737	70.5%	100,090	17.6%	24,190	4.3%	8,206	1.4%	35,231	6.2%
2008年	620,459	63.9%	396,415	63.9%	116,437	18.8%	37,304	6.0%	47,323	7.6%	22,980	3.7%
2009年	868,806	43.5%	377,561	43.5%	216,899	25.0%	52,514	6.0%	145,054	16.7%	76,778	8.8%
2010年	832,312	55.5%	462,220	55.5%	211,067	25.4%	17,379	2.1%	101,794	12.2%	39,852	4.8%
2011年	753,585	66.7%	502,432	66.7%	140,025	18.6%	26,259	3.5%	66,758	8.9%	18,111	2.4%
2012年	605,565	53.1%	321,294	53.1%	151,402	25.0%	38,143	6.3%	72,779	12.0%	21,947	3.6%
2013年	708,634	52.9%	374,727	52.9%	142,210	20.1%	64,115	9.0%	101,149	14.3%	26,433	3.7%
2014年	675,774	42.0%	284,154	42.0%	167,547	24.8%	108,965	16.1%	88,328	13.1%	26,780	4.0%
2015年	453,090	38.4%	174,143	38.4%	120,796	26.7%	48,297	10.7%	91,732	20.2%	18,122	4.0%
2016年	487,995	46.0%	224,680	46.0%	130,794	26.8%	39,063	8.0%	85,477	17.5%	7,981	1.6%
2017年 (1月～10月)	436,435	49.2%	214,563	49.2%	102,670	23.5%	40,031	9.2%	72,611	16.6%	6,560	1.5%

【 税関別推移表（金額）】

（単位：千円、％）

年月	全国		名古屋税関		横浜税関		神戸税関		大阪税関		その他	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
1988年	9,638,957	46.8%	4,507,054	46.8%	2,005,824	20.8%	1,243,901	12.9%	806,586	8.4%	1,075,592	11.2%
1989年	7,600,770	53.2%	4,040,655	53.2%	1,704,580	22.4%	835,622	11.0%	320,650	4.2%	699,263	9.2%
1990年	7,928,318	58.7%	4,652,105	58.7%	1,530,860	19.3%	1,150,852	14.5%	493,675	6.2%	100,826	1.3%
1991年	7,803,658	57.2%	4,467,474	57.2%	1,529,298	19.6%	675,713	8.7%	623,825	8.0%	507,348	6.5%
1992年	6,101,195	49.9%	3,043,010	49.9%	1,241,152	20.3%	971,265	15.9%	486,726	8.0%	359,042	5.9%
1993年	6,677,362	50.5%	3,369,258	50.5%	1,558,106	23.3%	882,839	13.2%	691,756	10.4%	175,403	2.6%
1994年	8,032,033	55.1%	4,425,181	55.1%	2,469,422	30.7%	542,905	6.8%	438,456	5.5%	156,069	1.9%
1995年	7,915,464	65.5%	5,187,178	65.5%	1,939,607	24.5%	430,996	5.4%	142,225	1.8%	215,458	2.7%
1996年	8,602,002	67.7%	5,825,514	67.7%	1,858,558	21.6%	185,722	2.2%	581,738	6.8%	150,470	1.7%
1997年	10,911,926	65.6%	7,163,349	65.6%	2,752,316	25.2%	277,066	2.5%	425,869	3.9%	293,326	2.7%
1998年	10,322,460	67.5%	6,962,842	67.5%	1,596,681	15.5%	339,177	3.3%	697,733	6.8%	726,027	7.0%
1999年	10,185,796	64.6%	6,584,593	64.6%	2,387,818	23.4%	237,109	2.3%	290,805	2.9%	685,471	6.7%
2000年	9,358,324	50.1%	4,691,009	50.1%	3,377,880	36.1%	89,628	1.0%	34,132	0.4%	1,165,675	12.5%
2001年	5,439,205	61.6%	3,350,463	61.6%	1,398,199	25.7%	273,463	5.0%	14,847	0.3%	402,233	7.4%
2002年	5,226,830	63.6%	3,323,026	63.6%	1,843,787	35.3%	33,777	0.6%	5,061	0.1%	21,179	0.4%
2003年	6,113,441	68.4%	4,182,814	68.4%	1,603,072	26.2%	245,564	4.0%	16,009	0.3%	65,982	1.1%
2004年	5,987,604	83.7%	5,010,507	83.7%	791,586	13.2%	62,528	1.0%	16,318	0.3%	106,665	1.8%
2005年	6,072,321	86.0%	5,222,951	86.0%	607,055	10.0%	95,585	1.6%	8,403	0.1%	138,327	2.3%
2006年	6,169,329	86.0%	5,306,371	86.0%	324,992	5.3%	78,807	1.3%	22,838	0.4%	436,321	7.1%
2007年	4,821,086	82.1%	3,957,344	82.1%	434,238	9.0%	38,597	0.8%	26,457	0.5%	364,450	7.6%
2008年	5,384,821	83.5%	4,496,267	83.5%	500,256	9.3%	82,112	1.5%	65,552	1.2%	240,634	4.5%
2009年	5,344,724	70.5%	3,766,955	70.5%	727,534	13.6%	67,687	1.3%	163,982	3.1%	618,566	11.6%
2010年	6,455,150	76.3%	4,922,795	76.3%	1,141,883	17.7%	52,128	0.8%	84,365	1.3%	253,979	3.9%
2011年	5,604,009	90.6%	5,078,715	90.6%	396,210	7.1%	37,088	0.7%	54,457	1.0%	37,539	0.7%
2012年	4,080,872	81.8%	3,336,992	81.8%	490,998	12.0%	63,529	1.6%	82,286	2.0%	107,067	2.6%
2013年	4,575,485	80.3%	3,674,675	80.3%	491,965	10.8%	171,414	3.7%	126,239	2.8%	111,192	2.4%
2014年	3,630,738	75.1%	2,727,409	75.1%	487,883	13.4%	209,252	5.8%	140,652	3.9%	65,542	1.8%
2015年	3,125,219	70.0%	2,189,190	70.0%	491,097	15.7%	273,286	8.7%	97,715	3.1%	73,931	2.4%
2016年	3,551,257	74.8%	2,657,488	74.8%	616,067	17.3%	131,580	3.7%	76,410	2.2%	69,712	2.0%
2017年 (1月～10月)	3,288,516	83.4%	2,741,125	83.4%	308,847	9.4%	123,370	3.8%	81,697	2.5%	33,477	1.0%

【名古屋税関における地域別推移表（金額）】

（単位：千円、％）

年月	世界	中東		イラク	UAE	西欧		オランダ	フランス	北米		アメリカ	中南米		チリ
	金額	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比	金額	金額	構成比	金額
1988年	4,507,054	332,930	7.4%	-	11,165	1,199,673	26.6%	796,012	-	2,949,038	65.4%	2,911,044	-	-	-
1989年	4,040,655	811,367	20.1%	-	68,404	1,036,873	25.7%	902,065	-	2,175,026	53.8%	2,088,659	7,009	0.2%	7,009
1990年	4,652,105	558,147	12.0%	-	47,861	666,538	14.3%	435,089	-	3,372,405	72.5%	3,291,825	8,785	0.2%	8,785
1991年	4,467,474	320,570	7.2%	-	15,342	2,048,215	45.8%	1,086,422	190,303	2,005,270	44.9%	1,961,959	3,387	0.1%	3,387
1992年	3,043,010	336,372	11.1%	-	83,856	1,277,060	42.0%	795,879	58,954	1,236,529	40.6%	1,212,644	19,210	0.6%	19,210
1993年	3,369,258	166,403	4.9%	-	86,826	1,382,343	41.0%	961,607	191,203	1,561,530	46.3%	1,543,247	11,850	0.4%	6,530
1994年	4,425,181	49,179	1.1%	-	9,680	1,856,369	42.0%	1,155,296	520,958	2,334,631	52.8%	2,312,502	17,582	0.4%	17,582
1995年	5,187,178	20,219	0.4%	-	13,902	2,544,512	49.1%	1,390,463	975,076	2,506,844	48.3%	2,473,551	22,420	0.4%	3,821
1996年	5,825,514	170,391	2.9%	-	132,600	3,425,466	58.8%	753,958	2,463,462	2,126,949	36.5%	2,107,883	21,256	0.4%	15,195
1997年	7,163,349	165,838	2.3%	-	152,994	5,141,480	71.8%	909,469	3,904,622	1,783,705	24.9%	1,778,776	22,650	0.3%	3,319
1998年	6,962,842	304,796	4.4%	108,582	155,651	4,933,909	70.9%	1,077,539	3,620,231	1,596,460	22.9%	1,571,439	10,836	0.2%	10,836
1999年	6,584,593	114,271	1.7%	-	46,784	4,569,089	69.4%	1,653,313	2,592,443	1,797,201	27.3%	1,728,257	2,734	0.0%	2,734
2000年	4,691,009	94,303	2.0%	41,805	4,735	3,718,930	79.3%	680,919	2,382,885	701,079	14.9%	675,980	8,148	0.2%	2,124
2001年	3,350,463	155,912	4.7%	31,286	35,934	2,692,890	80.4%	182,032	1,783,149	420,604	12.6%	420,604	12,367	0.4%	2,390
2002年	3,323,026	486,694	14.6%	86,404	60,001	2,264,693	68.2%	211,967	1,591,647	544,304	16.4%	536,885	1,329	0.0%	1,329
2003年	4,182,814	270,420	6.5%	1,347	148,272	3,354,565	80.2%	292,589	2,315,252	524,530	12.5%	518,435	-	-	-
2004年	5,010,507	230,616	4.6%	-	160,998	4,030,396	80.4%	470,648	3,066,166	682,293	13.6%	677,044	1,228	0.0%	1,228
2005年	5,222,951	579,578	11.1%	-	393,235	4,066,263	77.9%	258,270	3,098,245	527,648	10.1%	527,648	982	0.0%	982
2006年	5,306,371	813,549	15.3%	88,705	589,217	4,002,200	75.4%	335,865	2,633,674	385,871	7.3%	385,871	33,461	0.6%	33,461
2007年	3,957,344	1,056,544	26.7%	591,866	406,078	2,463,669	62.3%	364,300	1,307,815	378,210	9.6%	364,216	39,635	1.0%	39,635
2008年	4,496,267	1,251,246	27.8%	777,305	370,072	2,102,926	46.8%	127,371	1,350,607	333,685	7.4%	311,940	780,095	17.3%	780,095
2009年	3,766,955	1,304,215	34.6%	735,070	488,022	1,389,300	36.9%	145,373	953,898	247,798	6.6%	236,813	750,654	19.9%	416,330
2010年	4,922,795	1,223,595	24.9%	744,279	432,589	1,887,178	38.3%	255,516	1,211,939	413,941	8.4%	389,379	1,348,954	27.4%	1,348,154
2011年	5,078,715	1,355,445	26.7%	774,265	566,542	2,197,828	43.3%	323,418	1,349,939	468,470	9.2%	455,305	986,222	19.4%	986,222
2012年	3,336,992	1,174,080	35.2%	794,931	340,593	1,352,141	40.5%	95,371	799,973	370,916	11.1%	349,608	344,563	10.3%	344,563
2013年	3,674,675	1,527,686	41.6%	1,102,256	391,068	1,510,338	41.1%	176,189	789,266	290,015	7.9%	290,015	234,412	6.4%	234,412
2014年	2,727,409	1,430,064	52.4%	1,085,146	276,787	376,088	13.8%	174,455	97,409	326,667	12.0%	312,744	497,140	18.2%	497,140
2015年	2,189,190	734,975	33.6%	675,844	15,913	411,141	18.8%	219,674	42,229	450,311	20.6%	450,311	449,528	20.5%	449,528
2016年	2,657,488	763,599	28.7%	644,892	34,789	750,982	28.3%	298,567	-	426,459	16.0%	415,328	583,289	21.9%	563,828
2017年 (1月～10月)	2,741,125	643,919	23.5%	607,453	11,057	877,157	32.0%	443,444	-	570,597	20.8%	562,972	603,492	22.0%	589,948

石油ストーブの小話



【冬場の加湿】

冬場は、風邪や乾燥などの対策に加湿器を利用する家庭が増えてきましたが、石油ストーブを使うと、灯油を燃焼させるときに水蒸気が発生するため、室内が適度に加湿され乾燥対策にもなります。

【暖房効果の向上】

暖房器具で温めた空気ですが、温かい空気は天井など上の方に滞留してしまいます。サーキュレーターなどで上の空気を拡散してあげると、効率よくお部屋を暖めることができます。

広報展示室リニューアル



名古屋税関本関（名古屋港湾合同庁舎 本館）1階にある広報展示室がリニューアルしました。

正面玄関前通路から直接広報展示室に入室できる自動扉を設置し、従来必要だった入庁手続なしで見学が可能になりました。

また、展示物や解説文についても一新し、最近話題になっている金の密輸について、金地金の重量を体験できる展示物や、お子様向けに税関の制服を着用しての記念撮影コーナー、折り紙コーナーを新設しました。

貿易統計の紹介もしていますので、多くの方の来館をお待ちしております。

広報展示室は、原則平日9時～17時開館（祝日、年末年始除く）ですが、不定期で休日開館を予定しています。詳しくは名古屋税関HP「イベント情報」にて御確認ください。

本資料を引用する場合、名古屋税関の資料による旨を注記して下さい。

本資料に関するお問い合わせは、名古屋税関 調査部 調査統計課（Tel.052-654-4176）までお願いします。

また、貿易統計は名古屋税関HPでもご覧いただけます。

《 <http://www.customs.go.jp/nagoya/> 》